

平成25年8月13日

報道機関 各位

国立市秘書広報課広報担当

「被爆体験を聞くつどい 平和をつくるのはきっと、カタリだ。」を開催します

国立市では、平和事業の一環として、現在実施中の「ふつうの日になったのか原爆の日」展に続き、「被爆体験を聞くつどい 平和をつくるのはきっと、カタリだ。」を開催します。

戦争体験や核兵器の悲惨さ。それは写真や資料だけでは理解しきれません。

「本当の原爆」を知るために、長崎で被爆された桂さん、広島で被爆された濱井さん、そして市内で実施している「ふつうの日になったのか原爆の日」展の実行委員長である神田恭介さんにお話をお聞きします。原爆について、平和について、多くの人に考えていただきたい夏の講演会です。

ぜひ、取材・掲載方お願いいたします。

記

日時 平成25年8月17日（土）午後2時～4時

場所 南区公会堂フレスポホール（谷保3143-1）

お話 桂 茂之氏、濱井 隆治氏（国立原爆被爆者の会 く にたち桜会）

神田 恭介氏（「ふつうの日になったのか原爆の日」展 実行委員長）

問い合わせ 政策経営部 政策経営課 政策経営係

☎042-576-2111（内線223・228）